

# 因島高校を支援する会

発行 宮地 啓修  
支 竹中 啓修  
会 長 竹中 啓修  
題 字 竹中 啓修

## 入会のご案内

みなさんのご支援ご協力を  
よろしくお願い致します。  
入会及び入会金の受付は、  
下記へご連絡下さい。

因島高校PTA事務局  
(藤本教頭)  
☎08452-4-1281

# 因島の教育を語る

- 因島市教育長 宮地 康福
- 教育委員会学校教育課長 石畑 晴章
- 因島市P連合会前会長 岡野 長寿
- 因島市P連合会会長 村見 由活
- 因島高校PTA前会長 村上 正則
- 因島高校PTA会長 村井 圭一

宮地教育長 石畑学校教育課長を囲んで、市P連の新旧会長、高校PTAの新旧会長に集まっていたとき、因島の教育について、連携して考えていこうと会談しました。



因島市教育長 宮地 康福

宮地 はじめに、いつも皆さん方のご協力、ご支援が因島教育の推進力となっており、ことに感謝します。とりわけ本年、広島県では学力の低下防止のため、国語力をつけようと考えておられます。「考えをまとめるのは国語であり、ものごとを深く考えたり、うまくまとめられることが、できる力が国語力である」と力説しております。市内小中学校では、いち早く授業開

石畑 今年度、市内全校で公開授業研究会を実施します。また、重井中は、「学校評価システム」と「体育運動能力の向上」のテーマで、因北中は、「生徒指導」のテーマで、県の研究推進校に指定されています。他の小中学校も尾三管内、市内の研究指定として、



因島市P連合会会長 村見 由活

岡野 読書が重要というものの、図書室の整備が不十分と思うのですが、PTAが、ボランティアでお手伝いをしようかという意見も出ています。

村見 まず、学校統合については、早くすすめてほしいと思います。PTAも要望します。小中学校の学力実態把握テストの結果を公表してほしい。昨年は、学校単位で結果を公表した。学校間較差があるでしょうが、統合も間近ですから、保護者PTAも大きな関心があります。三次市で

## 学校統合・校舎・体育館落成 記念式典 挙行

五月二十五日、因島高校・学校統合・校舎体育館落成記念式典が、体育館にて行われました。

竹中啓修実行委員長、桶東愛生校長の挨拶に続き、広島県教育委員会林誠教育次長の挨拶、

式典に続き、卒業生の広島大学小原友行教授が、「夢・希望、そして志・・・」(因島高校で学んだこと)と題して記念講演を行いました。



は市の広報に情報公開されています。

宮地 今年度は、因島も公開の方針です。

村見 具体的にどこまで公開されるか。因島は、全国で、県内で、どこにあるのか、市内各校のそれぞれの平均点はどうか。その情報をいかにプラスに使うかです。医療現場も公開されて改善されてきたと思う。教育も同じですよ。

村井 昨年、当時の石畑重井中校長から「学校は、生徒の学力向上に責任がある。一年後、いかに伸ばしてきたかが、校長や教師の力量ですよ。」と伺ったとき、そのとおりだと大変感激しました。

岡野 高校で、四則計算ができない生徒が、増えているそうです。足し算・引き算、掛け算・九九がわからない。どうするか、きめ細かく対応できるように少人数授業や習熟度別授業が必要でしょう。

村見 まず、学校統合については、早くすすめてほしいと思います。PTAも要望します。小中学校の学力実態把握テストの結果を公表してほしい。昨年は、学校単位で結果を公表した。学校間較差があるでしょうが、統合も間近ですから、保護者PTAも大きな関心があります。三次市で

石畑 平成七年から、県も少人数・T-T指導を推進しており、昨年から小学校一年に非常勤講師を配置して、複数で授業をし、実質三十五人以下で授業をしています。子どもも「わかる授業を受けた」と思っています。今年はこの制度が小二・中一まで広げられて、理解度に応じた実態に即した授業をしています。



教育委員会学校教育課長 石畑 晴章

宮地 土日が休みになり、地域でできること、家庭でできることを、お願いしたい。例えば、町のスポーツクラブな

どで、しっかりしつけ等もしてもらおう。テニスコートに入る前の清掃、指導者に挨拶、練習中は譲り合い、助け合い等々。家庭で、本を読んだり、土曜日に洗濯をするとか。

村見 三庄中では、地区の指導者にクラブの講師を頼んでいる。

村井 高校でも、このたび、野球部に民間のコーチを頼み、クラブ活動に力を入れていこうと部員も張りきっています。勉強の補習だけでなく、心を豊かにすると、郷土を愛するとか、そういうこともやってほしいですね。

村井 主体性が薄く、流されやすいメンバーが多いと思うが、ほっておけば、楽な方へ流されるだろう。まじめなものが主流の学校だと、まじめな方へ染まるかもしれない。だから、学校のムード雰囲気

が重要だ。

村見 学力と生活態度の関係ですが、学力を上げれば、生活態度もよくなるそうです。

村上 今まで放任されていて、三年になって急に勉強しろといわれても、できないでしょうが、学校の中を勉強できる環境にすることが先生の役目。因島高校では、携帯の取り上げ、遅刻への厳しい対応、親を呼んで指導など、生活指導が厳しくなりました。

宮地 親に協力を頼むと、最初は反発する親もいるが、繰り返し話していくうちに、学校を支える力になってくださり、ありがたいですね。

村井 いろいろな機会をもつて学校に来てもらう。保護者にいかに情報を伝えるか。そして関心を持ってもらうことです。

岡野 因島高校では、八ガキ作戦を展開して、問題があったら、保護者に連絡してもらえようになった。

宮地 一貫してしつけをする必要から、高校でのしつけは小中でも考えねばならないと思いますね。

石畑 社会に通じる子どもを育てることだ。ながら族が多

いが、聞く態度が大切。心が入っていないと身につかない。就学前の家庭教育も大切。今学期末には、地元の人

の協力を得て、児童課の主管となりませんが、小学低学年を空き教室で、勉強させていく、「放課後児童クラブ」を生

生、田熊、因北で実施していきます。

村見 因島高校への各中学校からの進学にはらつきがありますが、中学校の進路指導も難しいと思います。三庄中では、引削船高専に通う子が多い。尾道へバス通学すると負担が大きい。自転車や引削に通ってもらうたら助かる。引削船高専は、五年間任せてください。」と自信をも

って説明会で話している。

石畑 校長面接等で、「地元

の新しい高校を自分達で新しく創っていく。」とも、指導

しています。

村井 学校間で先生の交流ができませんかね。高校への理解も深まるといいですね。

中学の先生は、「因島高校が魅力ないから推薦できない。」と言います。高校の先生は、「小中の学力、マナーの指導が不十分だ。」と言っています。うすばいはいか一緒に子ども

の成長を期待します。

村上 昔は、先生方や学校に

「A中では、テストの答案を漢字を使ってしつかりした字で書いている。B中では、平かなばかりの字で、裏側には漫画が書いてある。学校の差が感じられますよ。」と話していました。

村見 だれでも、学力は低いより、高い方を喜びますからね。そうなるように、学校は努力してほしいですね。スポーツでも、指導によって、違いが出てきますよ。

村上 高校で体操やアーチエ

リで国体に出場できました。先生の指導の影響が大き

いと思います。

村井 学校間で先生の交流が

できませんかね。高校への理

解も深まるといいですね。

中学の先生は、「因島高校が

魅力ないから推薦できない。」

と言います。高校の先生は、「小中の学力、マナーの指導が不十分だ。」と言っています。うすばいはいか一緒に子ども

の成長を期待します。

村上 昔は、先生方や学校に

心があった。先生はその子の

将来に大きな影響を及ぼしま

す。芯のある先生にめぐり合

えることを期待します。

石畑 信頼される学校を創る

ことですね。是正が終了して



因島高校PTA会長 村井 圭一

## 会談風景





# しまなみ海道沿線「がんばっていきる高校」を訪ねて

因島高校では、因島大橋開通後、通学が便利になり、本土の進学校等への進学が加速してまいりました。

このたび、因島高校PTAでは、しまなみ海道と同様な問題をかかえて頑張っている島の高校を訪ね、話を伺いました。

## 大島高校

大島高校(明比裕校長)は、昭和二十三年、島内の吉海町、宮窪町の生徒のため設立。近年のフリーなど交通の発達、しまなみ海道の開通で、今治市内の高校へ流出が激しい。

入学率は、平成十一年十二名、十二年十名、十三年二十一名、生徒獲得には、「学校をもっとよく知ってもらおう」と校長は、積極的な営業作戦を展開。今治市、波方町など、通学できる範囲の中学校へ何度も訪問。また、ホームページを立ち上げた。

さらには、後援会計より、約一〇〇万円を支出してカラーの折り込みチラシを作成し、通学圏内の新聞に十二月、一

## 大三島高校

大三島高校(山岡安子校長)は、昭和二十三年設立。以前は、今治方面の進学校へ行くには、下宿するため、金銭的な負担が大きかった。しかし、しまなみ海道が開通し、今治へバスで通学できるようになり、島外流出は激しくなった。現在、一年二十六名、二年三十七名、三年四十名である。

学校側 大三島町、上浦町両町と合議の上、「教育振興会」を設立し、今年度より新入生へ就学奨励金が支給されることになった。入試の点が、学校が設定した基準を超えた者(校長推薦)に授業料相当額(月額九三〇〇円)を三年間給付(町が補助)。

さらに、一、二年生も、校長推薦者に、授業料相当額を

しまなみ海道が開通して、交通は便利になりましたが、教育力の弱い島々は、大きな悩みを抱えています。個々の力は小さいですが、PTAや学校関係者で集まって、「島の教育おこし」を取り組んでいけないでしょうか。島の学校が連携して知恵を發揮できないものでしょうか。

月と各三五〇〇部いれた。また、テレビズームイン朝」にとりあげてもらい、全国放送。

少人数学校の良さを積極的にPRし、自然に恵まれた島で高校生活を送りたいと名古屋、大阪、沖縄などからも問い合わせがあった。

実際、少人数であるため、きめ細かい個人に合わせた対応ができ、学校行事も、各人が一人一役、自分の存在が認められ、生き生きと学校生活をする子も多くなった。大島は島四国で有名ですが、大島高校生は水羊羹を六〇〇個つくり、お遍路さんに接待してよるこばれるなど、地域に根ざした活動を続けている。

また、地元も、高校存続の

給付することになり、各学年とも一年間単位で決定されることになった。

「生徒減少」という降ってくる雪玉をどう食い止めるか学校、P、行政が一体となって努力しなくてはならない。「生徒の中に、走る集団がほしい。走れば、後はついてくる。中高連携をもっと強化したい。」と校長は中学校へ行って話す。大三島高校では進学希望者は、ほぼ個人指導



野球の応援



折り込みチラシ

ため、入学祝金一〇万を支給することになった。吉海、宮窪両町出身者へは両町から、町外者へは大島高校運営協議会(両町で構成し部活動等高校の支援をしている)から支給される。

村上哲司吉海町長は、「大



に近いような対応もできる。中間テストが一桁台の生徒は勉強がいやだと言いが、放課後補習。テスト三回くらいすれば、自力で三十二点とれた。「できた。」喜び、その気になる。期末テストも、点は悪い。でも、勉強の楽しさが少しはわかってきた。「また、補習してください。」と自分から言う。

「手をかけてやれば、少しでも身につく。そうすること、子どものためになる。小人数のクラスをさらに習熟度別に二つに分けわかりやすい授業を実施している。先生方の授業時間は多くなるが生徒たちのために懸命に努力してくれている。」と話す。

補習は、今年から週三回、全学年実施。放課後七時開始、全員が参加。進学組は、

## スーパーサタデーはじまる

因島高校では、今年度より土曜日が完全に休みとなることから、PTAが中心となって、学習時間の確保、学力保障の目的で、土曜の午前中、代々木ゼミの衛星放送「サテライン」の土曜版として、「スーパーサタデー」を計画し、全学年希望者を募り、五月より開始しました。

受講生の感想を聞いてみると、「わかりやすく楽しく勉強できた。体系的に教えてくれた。」「自分は英語が苦手であるが、興味がわいてき



サテライン講座受講

## 一学年に「特別進学クラス」設置

因島高校では、「特別進学クラス」を、十四年度入学生より、設置しました。

市内中学卒業生の約四〇%が、市外の高校へ進学する状況を見て、保護者や、中学校からの要望もあり、PTAや

## PTA総会開催される

五月十五日(水)、因島高校、PTA総会が開催され、桶東校長が、「これからは、中身作りです。学力向上、そしてクラブ活動の活性化です。」と挨拶しました。

新しく選任された村井圭一PTA会長は、「生徒、保護者、教職員、卒業生(同窓生)、そして市民が誇りに思える高校にしましょう。」と挨拶しました。

主な委員会は次の通り。

「文化広報委員会」

因島高校の内外への情報発信をするために、新聞に加え、ホームページの検討。

「進路学級委員会」

海外語学研修の協力、サテラインの実施推進等、生徒の進路保障の協力推進。

「健全育成委員会」

クラブ活動の活性化の協力、挨拶運動など生徒の生活指



PTA総会

## PTAがシラバス発行協力

PTAでは、シラバスを印刷発行の予定です。

シラバスとは、生徒に一年間で習得させる学習内容を、明示する授業計画のことです。今年度、学校は完全週五日制になるのに伴い、広島県教育委員会が、全県立高校で導入することとしたものです。

因島高校では、県教委の方



市民の投書箱

私は、土生で生まれ土生の小学校中学校を卒業しました。私の子どもも土生に住んでいるため、土生小学校中学校に行きました。土生の子は土生の学校へ行くのが今はあたりまえで、小中学校では校外の学校へ行くのは難しい状況です。

義務教育では、どの学校へ行こうと同質同等のレベルで教育を受けることができるはずですが、どうも学校間格差があるようです。また教師の指導力にも開きがあるようです。少しの格差なら、当然我慢すべきことと思いますが、その所はどのようになっているのでしょうか?世間では提供するサービスや商品の内容を、顧客に知らせるのは、当たりまえで常識だと思つのですが、どうでしょうか。

(土生・中学生の父)

## 編集後記

愛媛県島嶼部の高校を訪ねて、高校存続を考え、先生方も必死な様子が伺えた。「高校は町のシンボル」という。高校を中心にした町おこしだ。その余波は、他へも及び活性化につながっていると思う。しかし、今、市町村合併が勧められている。合併して、大きな町の一部になってしまった場合、地元高校への情熱は小さい行政規模よりは薄くなる。

因島市町村合併が模索中だ。島の高校の今後にも影響があるかと思うが、ぜひ、いい方向で進んで行ってほしいと思う。

(ケ)

五、六年前、旧因島北高の一部の生徒を見るにつけ、学校での生活指導がなされていない様子が見受けられ、非常に悲しく情けない思いがしていました。しかし、統合を機に新しく生まれ変わり、現在では、茶髪や制服を着ない生徒、そして自由登校の状況はなくなりました。これは、統合したから生徒の生活態度がよくなったのではなく、先生

針により、先生方がシラバスを作成されていますが、印刷費用の予算が計上されていないため、PTAが印刷発行をし、会員に配布することを学校に提案しました。

シラバスの配布により、会員の理解が深まり、今後の学校の取り組みに対して、協力が高まると思われれます。

方のためまめ生活指導のおかげだと思っております。これからも学力の向上も、生活指導もよろしく願います。

(旧因島北高の卒業生)